令和7年度　自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　coco・ほーむ			
○保護者評価実施期間	2025年１月30日～2025年２月13日			
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	25名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	2025年3月12日			
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4名	（回答者数）	4名
○事業者向け自己評価作成日	2025年3月19日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して過ごせる環境作りと支援の実施	叱責等の強い指導に頼らない支援に努めております。家庭的な雰囲気作りと個々の強化子（好きなもの、こと）のアセスメントを丁寧に実施する。	スタッフ間で実際に起こったエピソードをもちより、よりよい指導及び支援についての共有をさらに進めていく。
2	専門的な相談面談体制の構築とスタッフの専門性の向上	なるべくこどものいない時間帯に面談を設定し、保護者がゆっくりと話せる時間をとっています。長年の研修業務と相談業務に従事した経験をいかし、広く相談を承っている。	R8.4.1より相談室を設置しより多面的な相談に応じられる体制づくりを進めていく。
3	こどもに合わせた支援プログラムの作成	一人ひとりの強化子アセスメントとスタッフ間の共通理解を図っている。また、効率的な支援を目指し、個々の計画時間の柔軟な対応に努めている。	強化子アセスメントの結果を保護者とも共通理解するとともに、個々に合わせた効率的な柔軟な性のある支援プログラム（内容、時間等）に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
1	保護者には、支援プログラムについて満足して頂いている一方で、具体的にどんなことが行われているかの共通理解を進める必要がある。	全スタッフが、こどもの強化子、長所、課題を理解し、保護者へ説明できるようにしていいきたいと考えている。	スタッフへの個別研修の実施と保護者への支援プログラムを基にした丁寧な説明に努める。
2	全スタッフが、応用行動分析に基づいた専門的な指導及び支援を実施できるようにする必要がある。	個別の研修ニーズに応じた研修を実施しているが、研修する内容の多さに戸惑っているスタッフがいる。	時間が限られているため、効率的な研修プログラムの作成が必要であると考えている。

3	日常の業務マニュアルの他、感染症等のマニュアルを整理していく必要がある。	マニュアルが多岐に渡り、また量も多いため戸惑うスタッフがいる。	マニュアルの整理を進め、効率的な業務の推進を図る。